



幸福のマリオ ネット



rocksan

幸せを知らない人形は
誰かにゼンマイを巻いて貰いたくて
今日もふらふら街を彷徨う

ある時はゼンマイを巻いて貰う代わりに
一日中踊ってみせた
下手くそと笑われてもそれでも踊り続けて
ようやく少しだけ巻いて貰った
お陰でその日は止まらずに済んだ
お礼を言うより先に追い出されてしまったけれど

ある時は身包みを全て剥がされて
体中を調べられた
尖った金属の道具で体を開かれ
色々な線で繋がれた
人形だから痛みは無いけれど
なんだか歯車が止まりそうになった
涙とはこんな時に流すものなのだろうか
そんな事を思っていたら
胸の辺りがもやもやする
けど故障した訳じゃないらしい
体は動くから
お陰で今日も動いていられる
捨てられた服を拾い集めて
また歩き出した

どうしてまだ彷徨っているかって？
それはおじいさんとの最後の約束
私を作ったおじいさん
今はもう動かないけど
毎日ゼンマイを回してくれた
私の踊りを褒めてくれた
私に色んな服を着せてくれた
いつも笑っていたおじいさん
おじいさんは動かなくなる前に言った
「私はお前といれて幸せだった。
これからはお前が幸せになるんだよ。
今までありがとう。」

そう言っておじいさんは動かなくなった
私もしばらく動けなくなった
何故だろうゼンマイはまだ止まってないのに
このまま止まってしまおうと思ったけど
おじいさんは私に幸せになれといった
それは約束
約束は大事なものと聞いた
だから私は止まりかけた体を動かし街へ出た
街には何でもあると聞いたから
きっとそこに幸せがあると思ったから

そして今私は街にいる
幸せはまだ見つからないけど
色んなものを見つけた
でもまだ知らないものばかり
だから探し続ければきっと
どこかに幸せもあるだろう
まだまだ止まる訳には行かない

幸せを知らない人形は
汚れながらもまだ動いてる
幸せについて考えると
何故かおじいさんの笑顔が浮かんでくる
それだけで今日も歩いていける